

飯塚市の共生社会ホストタウン 活動計画

アジア最高峰の車いすテニスの大会「飯塚国際車いすテニス大会*」

1985年から続く本大会を、2000名超のボランティアを中心に市全体で盛り上げてきた「イイツカ方式*2」の経験と精神を基盤として、共生社会の実現を目指す。



*飯塚国際車いすテニス大会(1985～)

世界4大会に次ぐグレードの大会”JAPAN OPEN”として開催され、世界中からトップクラスの選手が参加。

男子シングルス及び女子シングルス優勝者にそれぞれ**天皇杯・皇后杯**が贈られる。

*2 イイツカ方式

大会期間中の輸送やボールパーソン、通訳等をすべて民間企業、自衛隊、学生、市民等のボランティアが運営しており、世界から高く評価されている。

目指すべき
共生社会の姿

○市全体が、自然と障がいがある方への手伝いができるまちへ
○障がいがある方も安心して生活できるまちへ

ユニバーサルデザインの街づくり

- ◆障がいがある方もない方も楽しめるスポーツ施設の整備
 - ・障がい者目線を取り入れたテニスコートの観客スタンドを設置
 - ・高齢者や障がい者スポーツにも対応できる新体育館の建設
- ◆ユニバーサルツーリズムの推進
 - ・車いすテニス大会の会場でもあるスポーツ施設が併設する公共宿泊施設のバリアフリー化
 - ・民間宿泊施設にバリアフリー化を推奨
- ◆誰もが住みやすさを実感できるまちへ
 - ・市主要駅前に多目的トイレや音声案内板を設置
 - ・中心市街地の歩道の段差解消や点字ブロックの整備
 - ・市内バリアフリー情報の集約および発信

心のバリアフリー

- ◆イイツカ方式の担い手の継承
 - ・車いすテニス大会を継続開催し、さらに発展させるため、次世代のボランティア担い手を育成
- ◆パラスポーツの普及促進・パラリンピアンとの交流
 - ・パラスポーツ(車いすテニス、ゴールボール等)体験の実施
 - ・日本人パラリンピアンと市民との交流
 - ・南アフリカ共和国のパラスポーツ(車いすテニス競技・水泳競技)の合宿受入及び市民との交流
- ◆市民啓発活動
 - ・自治会等や民間企業に対し、障がい者への合理的配慮などをテーマとした研修やイベントの実施
 - ・手話奉仕員養成講座の実施

